

博士課程教育リーディングプログラム 平成29年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成25年度		
機関名	東京大学	全体責任者（学長）	五神 真
類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者	石田 淳
整理番号	S01	プログラムコーディネーター	森山 工
プログラム名称	多文化共生・統合人間学プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本学位プログラムの目的は、学際的・複合領域的な5年一貫の博士課程教育プログラムを実施することで、多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成することである。本学位プログラムは、多文化共生の理念へのチャレンジを先導する人材に必要な学知を、専門性を備えたうえでのさらに広い視座を持ち、新たな価値の創造を可能とする新しい教養と定め、「統合人間学」と特徴づける。本事業は社会に統合的人間学を修めた優秀な人材を輩出すると同時に、多文化共生社会の実現には「教養」が必要であると広く社会に向けて提言する。こうした本学位プログラムの目的は、東京大学の中期的ビジョンを示す「東京大学行動シナリオ：FOREST 2015」における「真の教養を備えたタフな学生」の理念や「東京大学ビジョン2020」における「基礎力の涵養と『知のプロフェッショナル』の育成」に合致している。本プログラムの直接的なアウトプットは多文化共生社会の実現を目指す次世代トップリーダーを輩出することであるが、アウトカムとして、人文科学・社会科学・自然科学の新たな大学院教育の理念としての統合人間学を社会に提示することが挙げられる。

2. プログラムの進捗状況

多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成するため、平成29年度も平成28年度に引き続き、本プログラムの更なる定着と教育内容の充実に努めた。修士課程1年の16名（うち秋入学5名）の学生を新たに受け入れ、5つの教育プロジェクト及び地域とテーマに関する11の教育ユニットにおける演習科目、実習科目等を充実させ、本プログラム生に提供するとともに、国内外での研修等も積極的に行い、プログラムの総合的推進とキャリアパスに応じたプログラム生へのサポートを実施した。また平成27年度からプログラム生となった博士後期課程の5名が所定の単位を取得し、プログラムを修了した。一方、平成30年度から本学総合文化研究科に独自プログラムとして設定することが決定したため、入学試験を実施し、2018年4月から5名を採用することとした。